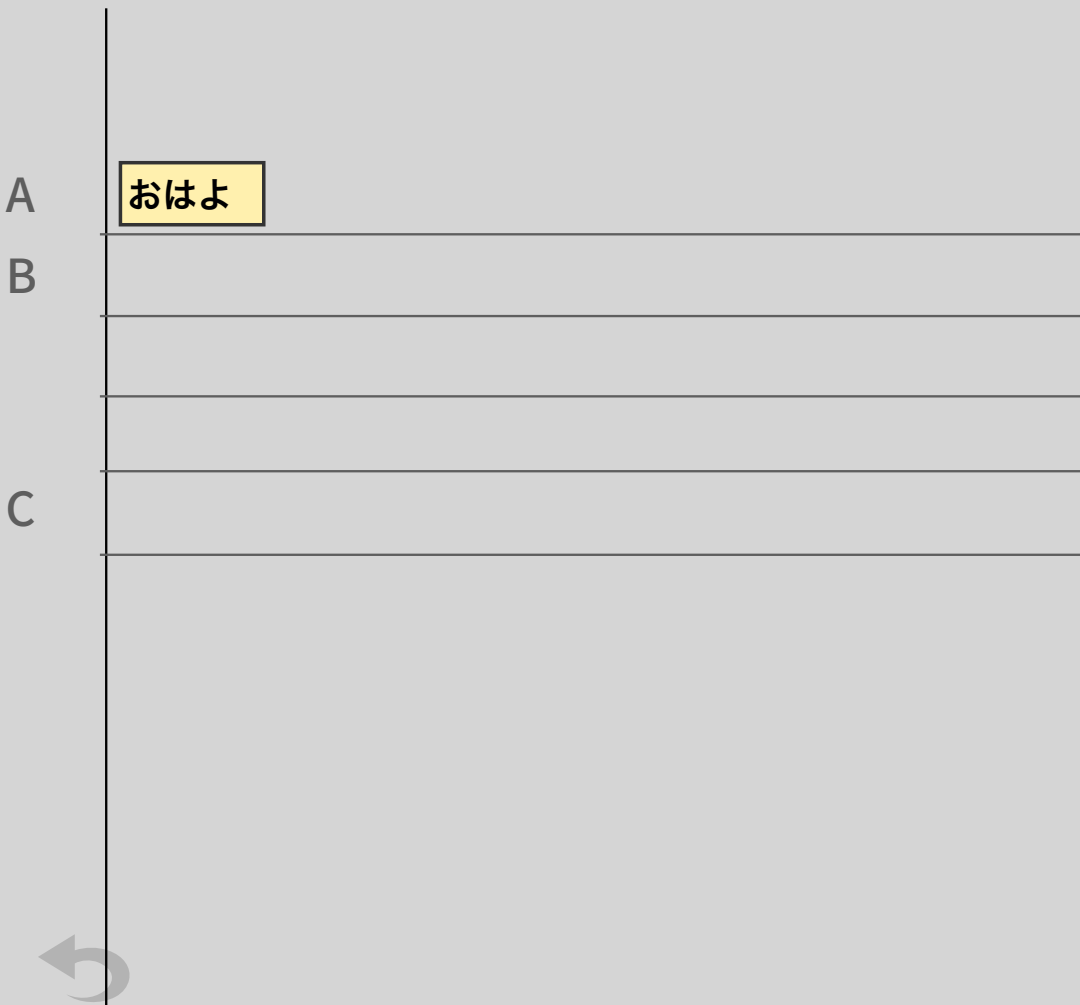


ある発話グループの整形後はこちら

A	おはよ	[うございますーきょうもあついですねえほん
	とに	[いやんなっちゃうわあ～
B		[おはようさんです久しぶりじゃないですかーた
	しかに汗がもう	[ダラダラとまんないわよおお
C		[あらまあ～元気されてたふたりとも～私
	きのうさ、風呂二回入った	



手順 1 . . . <0-0>のX位置決定



1. 1つのtagを配置

- <0-0>

- tagX：左端

2. tag行分割チェック&分割

- $\text{tagW} < (\text{winW} - \text{tagX}) + \text{winW} * n$

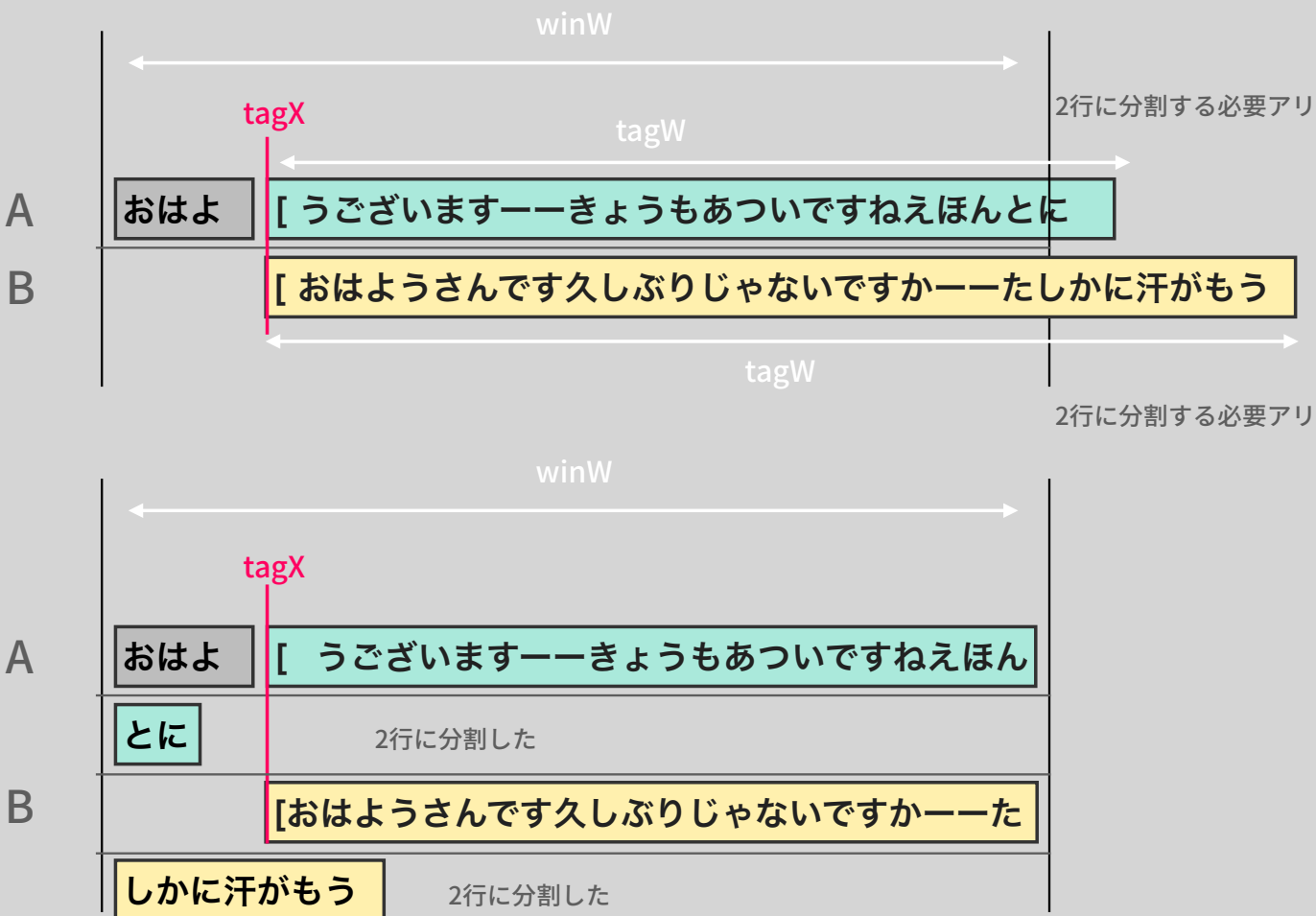
- なる最小のnを求め、

- tagを (n+1) 個のtagへと分割。

3. 分割した子tagたちを 左端に配置する

手順 2 . . . <0-1><1-0>のX位置決定

※Y位置は、この時点ではすべてゼロ（図では見やすさ優先でずらしてるだけ）



1. 2つのtagを配置

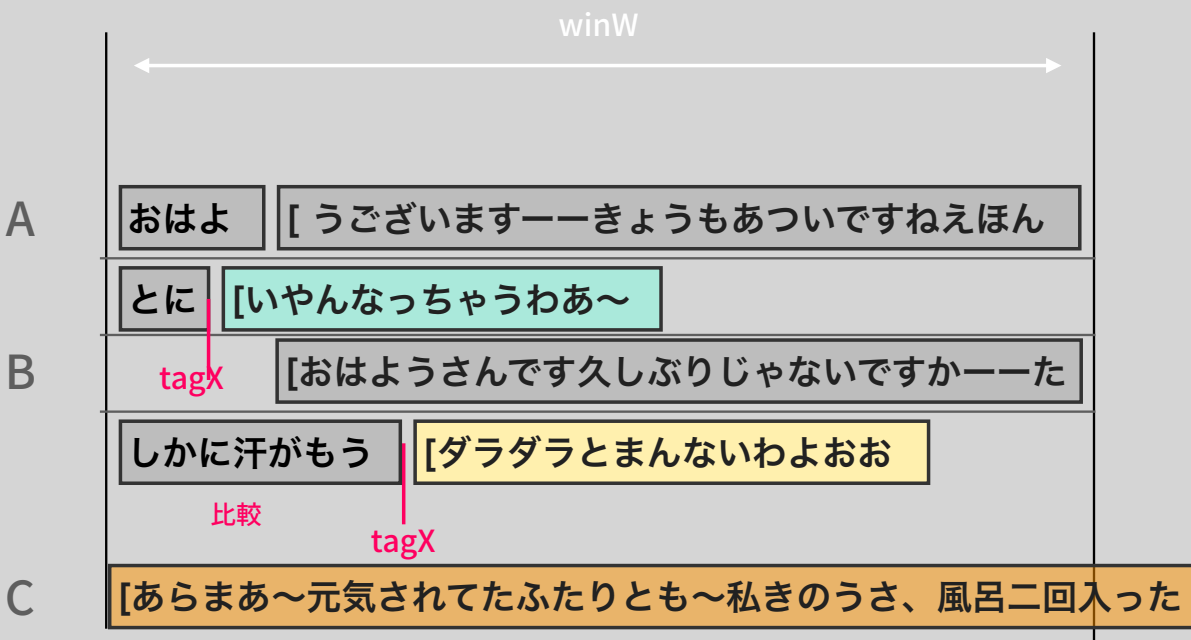
- <0-1>・<1-0>
- これらの $tagX = \text{<発話0-0>tag末尾}$

2. tag行分割チェック&トライ

- $tagW < (winW - tagX) + winW * n$
- なる最小の n を求め、
- tagを $(n+1)$ 個のtagへと分割。

3. 分割した子tagたちを左端に配置する

手順3・・・<0-2><1-1><2-0>のX位置決定



1. 3つのtagを配置

- <0-2>・<1-1>・<2-0>

2. これらのtagX位置を決定

- <発話0-1>tagと<発話1-0>の末尾を比較

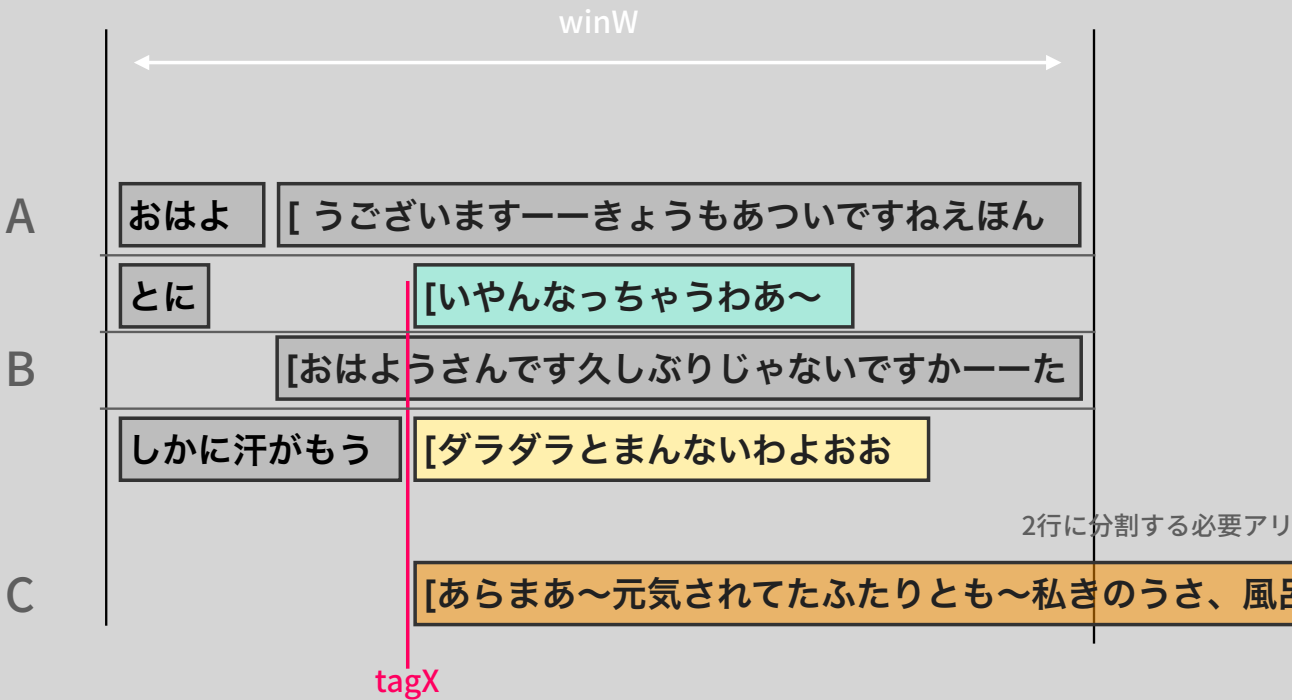
3. tag行分割チェック&トライ

- $\text{tagW} < (\text{winW} - \text{tagX}) + \text{winW} * n$
- なる最小のnを求め、
- tagを(n+1)個のtagへと分割。

4. 分割した子tagたちを 左端に配置する



手順3・・・<0-2><1-1><2-0>のX位置決定



1. 3つのtagを配置

- <0-2>・<1-1>・<2-0>

2. これらのtagX位置を決定

- <発話0-1>tagと<発話1-0>の末尾を比較

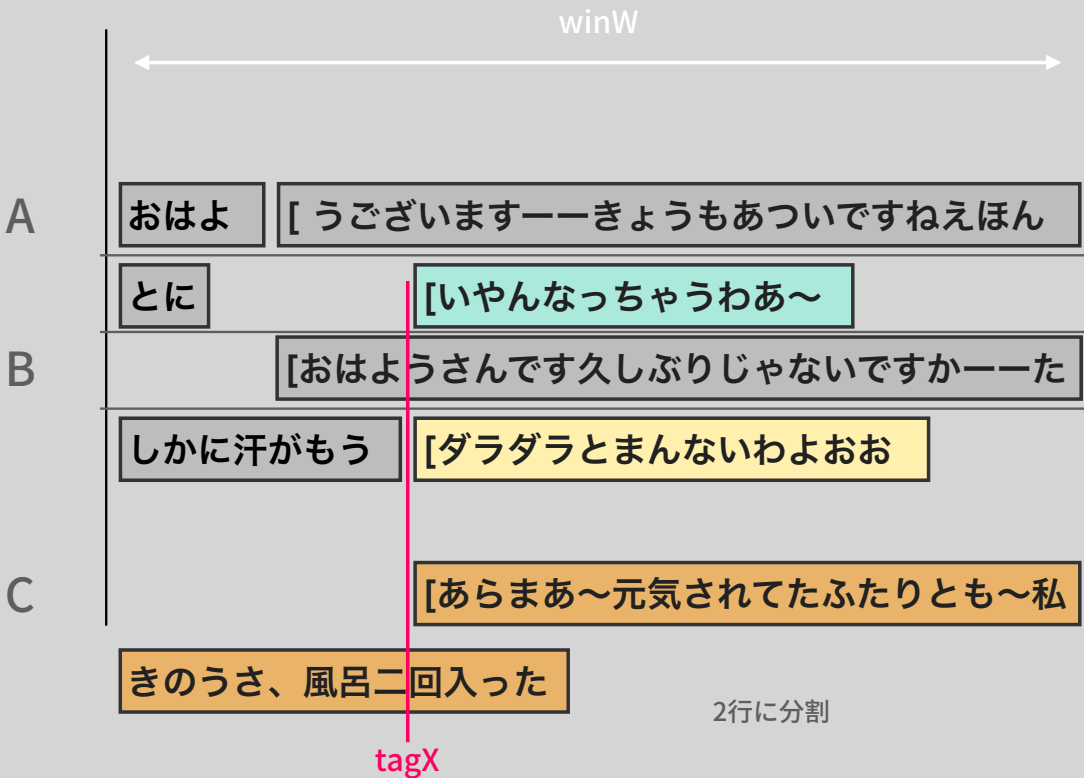
3. tag行分割チェック&トライ

- $\text{tagW} < (\text{winW} - \text{tagX}) + \text{winW} * n$
- なる最小のnを求め、
- tagを(n+1)個のtagへと分割。

4. 分割した子tagたちを 左端に配置する



手順3・・・<0-2><1-1><2-0>のX位置決定



1. 3つのtagを配置

- <0-2>・<1-1>・<2-0>

2. これらのtagX位置を決定

- <発話0-1>tagと<発話1-0>の末尾を比較

3. tag行分割チェック&トライ

- $tagW < (winW - tagX) + winW * n$
- なる最小のnを求め、
- tagを (n+1) 個のtagへと分割。

4. 分割した子tagたちを 左端に配置する



手順i・・・ $\langle 0-(i-1) \rangle$, $\langle 1-(i-2) \rangle$, ..., $\langle (i-1)-0 \rangle$ のX位置決定

(略)

1. iつのtagを配置

- $\langle 0-(i-1) \rangle$, $\langle 1-(i-2) \rangle$, ..., $\langle (i-1)-0 \rangle$

2. これらのtagX位置を決定

- $\langle 0-(i-2) \rangle$, $\langle 1-(i-3) \rangle$, ..., $\langle (i-2)-0 \rangle$ の末尾比較

3. tag行分割チェック&トライ

- $\text{tagW} < (\text{winW} - \text{tagX}) + \text{winW} * n$
- なる最小のnを求め、
- tagを (n+1) 個のtagへと分割。

4. 分割した子tagたちを 左端に配置する



手順 $i \cdots \langle 0-(i-1) \rangle, \langle 1-(i-2) \rangle, \dots, \langle (i-1)-0 \rangle$ の X 位置決定

(略)

1. i つの tag を配置

- $\langle 0-(i-1) \rangle, \langle 1-(i-2) \rangle, \dots, \langle (i-1)-0 \rangle$

2. これらの tag X 位置を決定

- $\langle 0-(i-2) \rangle, \langle 1-(i-3) \rangle, \dots, \langle (i-2)-0 \rangle$ の末尾比較

3. tag 行分割チェック & トライ

- これら i つのタグそれぞれにおいて、
- $\text{tagW} < (\text{winW} - \text{tagX}) + \text{winW} * n$
- なる最小の n を求め、
- tag を $(n+1)$ 個の tag へと分割。

4. 分割した子 tag たちを 左端に配置する



tagのY方向の位置を決定する

※発話ごとに必ず改行することに注意

- グループ0から順に決めていく。
 - (A) 「X位置が左端」のtagだったら
 - topを、直前発話最終tagのbottomに合わせる
 - (B) それ以外のtagだったら
 - topを、直前tagのtopに合わせる
- 各発話は、何行にわたるのか情報を得るには・・・
 - 「X方向決定処理」とおして、この発話に対して何回それぞれ何行ずつに分割したのか？
 - 1回だけ、n行に分割したら、「n行」にわたる
 - 2回分割して（2こtag以上からなる発話ってこと）、それぞれm行・n行へと分割していたら、 $(m+n-1)$ 行
 - 3回分割して（3こtag以上からなる発話ってこと）、それぞれk行・m行・n行へと分割していたら、 $(k+m+n-2)$ 行
 - l回分割して（lこtag以上からなる発話ってこと）、それぞれk行・m行、…、x行へと分割していたら、 $(k+m+\cdots+x - (l-1))$ 行



整理すべきこと

- 以下両者の扱い方をどうする？
 - <0-2><2-1>みたいな、発話tag
 - 分割した発話tag
- 2種類を分けて管理したほうが都合がいいことが多い
-

